

事業実施報告及び決算概要

平成 28 年度は、「第 2 期中長期計画」（平成 25 年度～29 年度）の第 4 年次にあたり、引き続き、当法人・施設の未来への「持続的発展」に向けて、「ふれあいと支えあいをめざして」経営理念の下に、「地域に根ざした信頼される施設づくり」を着実に推進するため、全役職員がこの計画を共有し、「工程表」に則り、最善の努力を傾注してきました。

平成 28 年度の事業実施状況については、各施設とも地域の人びとや利用者・ご家族の信頼をいただき、順調に運営されており、全国的に顕在化している保育士、介護職員等の深刻な人手不足が及ぼす事業活動への影響を免れないものの、平成 28 年度決算は、総じて良好な結果となりました。

施設整備については、「中長期施設整備計画」に基づき、おでんせ本宮外壁改修工事、すずの音・北川・徳田保育園の遊具更新工事、法人本部のサーバー室新設・空気調和設備等工事、前潟・すずの音保育園の電磁調理器設置・電源入替等工事及びおでんせ本宮スチームコンベクションオープンの更新、その他施設整備の経年劣化等に伴う所要の維持修繕を実施しました。

1 平成 28 年度事業実施概要

- (1) 施設の利用状況（1 日平均）については、各施設ともほぼ定員を確保し、老人福祉施設は 163.6 人（前年度比較 3.9 人減）、児童福祉施設は 521.4 人（同 20.1 人増）で、法人全体の一日平均利用者数は、685.0 人（同 16.2 人増）となりました。なお、保育所については、全国的な保育士の確保難等により、配置保育士のシフト編成見合いに制限されるため、利用者数は定員（460 人）を若干下回ったものの、一日平均 445.6 人で、前年度比較 26.1 人増となっています（別表参照）。
- (2) 職員の資質向上については、「職場研修実施要領」に基づき、計画的に OJT、OFF-JT、SDS 研修等を実施した（各種外部研修等への受講派遣：延 279 人）ほか、4 保育園による「多職種職員合同研修」（3 回）を実施しました。また、臨時職員のモチベーションを高め、有為な人材を登用するため、引き続き「キャリア・アップ研修」を実施しました（正規職員の登用 52 人・うち 28 年度登用 6 人）。
- (3) 子育て拠点としての取組み等については、牧の林すずの音保育園・前潟保育園の地域子育て支援センターにおける子どもの遊びの場の提供、仲間づくり、子育て相談・講習会、子育てサークルなど育成・支援事業を展開しました。また、各保育園で、園舎の開放、体験保育、育児相談、離乳食等のレシピの提供、老人クラブ等の協力も得て園内農園での農作業や、郷土食・伝統芸能の伝承活動等に取組みました。
- (4) 地域に開かれた事業については、引き続き、福祉関係養成校等からの研修生等の受入れ（協力）を進め、法人全体の研修生の受入れは 43 人・延 380 人（うち、おでんせ本宮は医科大学生を含め 30 人・延 276 人）となっています。また、盛岡さんさ踊りへの参加（215 人）、保育園園児の地域行事等への参加（延 37 回）や、おでんせ本宮における地域の独居高齢者等を招いてのクリスマス会、デイサービスおでんせ・介護支援センターの介護予防教室、前潟保育園地域子育て支援センターの出張あそびの広場など、地域との連携交流や社会貢献活動を促進しました。

2 平成 28 年度決算概要

- (1) 事業活動（サービス活動）による収支の状況については、事業活動資金収支差額は 119,051 千円で、前年度に比較すると、43,070 千円（26.6%）の減となり、11 サービス区分会計が収支の均衡を確保し、4 サービス区分会計がマイナスの計上となりました。
- (2) 資金収支の状況については、当期末支払資金残高が 15 サービス区分会計いずれもプラスの決算となりました。法人全体の支払資金残高 342,555 千円は、前年度に比較すると 18,240 千円（5.6%）の増となっています。
- (3) 財務収支の状況については、法人全体の設備資金借入金残高 87,892 千円は、前年度比較すると 30,949 千円の減となっています。
- (4) 積立資産の状況については、後年度に発生する建設改良等に備え、18,000 千円を積立て、備品等購入の財源に充てた積立資産 12,250 千円を取崩し後の法人全体の積立資産は 394,980 千円となりました。
- (5) 財産目録の状況については、純資産の総額は 2,045,087 千円となり、前年度に比較すると、12,025 千円（0.6%）の減となっています。